

事業計画書

平成30（2018）年度



社会福祉法人 アドベンチスト福祉会

シャローム三育保育園

平成30年度 シャローム三育保育園事業計画 基本方針

園長 村上 渉

平成30年度、約10年ぶりに保育所保育指針が改定されます。ここ数年で保育園に入る子どもが増加し、保育施設の数も増えつつあります。今回の保育指針の改訂では、大きく増加した低年齢児（0、1、2歳児）に対して、この時期が心身の発達に重要であり、その後の成長や社会性に大きな影響を与え、その子の一生に係る事であることから、0、1、2歳児の保育に係る内容の充実が図られています。

もう一つは「幼児教育の共通化」です。保育所、幼稚園、認定こども園など、「子ども・子育て支援制度」により子どもを長時間預けられる施設の幅が広がりました。そして保育所は「教育機関」と位置づけられ、子どもが多く時間を過ごす園の活動内容に違いが無いようにすることが目的です。いつの時代も「子は宝」であり、かけがえのない大切な一つの“いのち”です。子どもが園生活の中で幸福感を感じ、自らの主体性を持ち、その子らしい人生を歩むための基礎となる保育が求められています。

昨年度、福祉サービス第三者評価と、横浜市の実地監査が行われました。日々の保育運営について細部まで確認する良い機会となり、随時見直しを行う事ができました。平成28年度から始めた保育園の中期計画も3年目になります。今年度は園庭の整備を行います。子どもたちが充実した豊かな園生活を送ることができるように整備を行っていきます。

シャローム三育保育園が目指すものは「心を育てる保育」です。人々から愛されることと同時に人々を愛せる子どもに育てる保育を実践していきます。小さなもの、弱いものへのいたわりの心、思いやりの心の大切さについて保育者が見本となり、子どもたちに伝えていきます。

「すべては子どもの最善の利益」の為に、常に最善の方法を考え、保護者支援や地域子育て支援の拠点として、ともに子どもたちの成長の喜びを分かち合える関係を築き、行政機関や地域と連携した運営を行っていきます。

平成30年度事業計画 部門名		計画責任者：氏名
保育園		村上 渉
I	保育基本方針 キリスト教の愛を基に 「知育」(考える力) 「徳育」(おもいやる心) 「体育」(けんこうな体)の調和のある発達を目的とした保育を行う	
II	保育目標 <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを素直に表現し、意欲的に生活する子ども ・思いやりの心を育て、感謝の気持ちを持てる子ども ・健康な心と体を持ち、最後まで頑張る子ども 	
III	事業数値目標 1. 園児数の確保 定員70名(最大児童数84名) 2. 一時保育 年間延べ人数350名	
IV	業務の改善・見直し(部門の従来からの欠点・弱点の改善) 全体 1. 近隣施設や地域の行事等に積極的に参加し親密な関係を築いていく。 保育 1. 新保育指針を研究し指針に沿った保育を実践する。 2. 保健指導計画を基に園児の健康管理と感染症予防の啓発指導を行う 食育 1. 新保育指針に沿った食育計画の充実 2. 栄養摂取基準を安定的に満たした献立の作成と提供をする。	
V	業務の強化・向上(従来からの強み・良い点の強化向上) 全体 1. 施設設備の充実：園庭を整備し遊びの幅を広げ、安全に活動できるようにする 2. 緊急時対応の強化：危機管理の意識を高め、さまざまな非常時の対応に備える。 3. 職員教育：研修計画を基に一人ひとり目的を持って研修に参加し、保育の質の向上に努める。 4. 保育状況に合わせて保育士を配置できるように体制を整える。 保育 1. 園外活動の一環として地域行事に参加する。 食育 1. 食事を通して「食べる」とは命を頂くという事の意味を伝えていく取り組みを行う。 2. 行事食やバイキング、お誕生日スイーツ等、子どもたちが楽しめる工夫をする。	
VI	業務の新たな試み(新たなニーズへの対応・開発) 1. せやまる・ふれあい祭りへの参加内容の充実を図る。 2. 自己チェックシートを用いて日頃の業務の振り返りを行い、専門性の向上を図る。	